

藤波こども園

令和6年度 園長だより No.5

令和6年10月2日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

暑さ寒さも彼岸まで ??? 子どもたち 元気に過ごしていますよ



例年であればお彼岸の前後には彼岸花(曼珠沙華)があちらこちらで花を咲かせて私たちに季節の変化を教えてくれるのですが、今年は彼岸花もタイミングを遅らせたようで、10月になってようやくちらほらと見かけるようになりました。子どもたちは暑さの和らいだ時間を見つけて園庭で元気よく遊んでいました。

「お手伝いしたよ」

～ 2学期始業式 ～

残暑厳しい中、9月2日に2学期の始業式を行いました。始業式の話の中で、「1学期の終業式でお話したこと、覚えているかな?」と、子どもたちに尋ねてみました。1ヶ月以上も前のことだから忘れていだろうな、どんなヒントを出そうかな、と思いながら問いかけたところ、数人の子どもたちから「お手伝いをしよう、と言った」と、予想外の、非常にうれしい反応がありました。

6月に行いましたPTA講演会での原先生のお話の中で「お手伝いは万能薬」と言っておられました。

お手伝いをするによって「ほめられる」「達成感を味わえる」「家族の一員であることを自覚できる」など、たくさんの効果があり、自尊



感情や外向性などが育つとのことでした。そんなことを思い出しながら、1学期終業式で「お家にいるときが多くなるので、お手伝いをいっぱいしましょう」と話していたのです。



そしてその後「みんな、お手伝いしたかな?」と問いかけるとたくさん子どもたちが手を挙げて「掃除のお手伝いをした」「お茶碗を洗った」「お母さんと一緒に料理をした」など、報告してくれました。1ヶ月以上も前の話を覚えていてくれたことと、そのことを実際に家で行っていたことに驚きと感動でした。

【ホームで子ども同士の学び合い】

2学期が始まって間もないある日のこと、ホームで花組の2人の子どもがおもちゃの取り合



いをしていました。そこへ周りの子どもたちがやってきて「どうしたの」「使いたいの」「手出したらあかん」など、声をかけたり両手を広げながら仲裁に入ったりしていました。思いを聞いてもらった2人は納得したようで、トラブルも解決できたようでした。日常生活の中に子どもたちのトラブルはたくさんありますが、このように年上の子が年下の子の思いを聞いて受けとめてくれる姿があります。月組の子が小さいときに関わってもらったことを思い出しながら、同じようにして、共に育ち合っているように感じます。

藤樹先生のようにになりたいよー

～ 早速に報告・実行 ～

藤樹先生の命日に合わせて9月25日に儒式祭典が行われましたが、その前日の24日に月組



の子どもたちが藤樹書院を訪れ、参拝しました。

儒式祭典の準備が整った書院に入らせていただき、理事をされている堀田義次さんから「この場所で藤樹先生は勉強されていたんだよ」と説明いただきました。また、藤樹先生は靴をきれいにそろ



えて行儀良くされていたことに合わせ、子どもたちが入り口で靴をそろえていた様子を褒めていただきました。

書院での説明の後、良知館で紙芝居「子どもの頃の藤樹さん」を聴かせていただきました。その紙芝居には藤樹先生がお父さんから「お米を作るたいへんさ」と「食べ物を粗末にはいけないこと」のお話を聞き、もっと勉強していろいろなことを知りたいと思う様子が描かれていました。



紙芝居の後、子どもたちから「なぜ(どんなことをして)藤樹先生は偉くなったのですか」の質問に

- ・勉強して覚えたことを毎日行動された
- ・人にけがをさせない、自分もけがをしない

・病気にならないようにご飯を残さずに食べたなどのことを教えていただきました。

園に戻ってからは各ホームで月組から星組・花組のお友達への報告です。

- ・自分の体は自分で守る
- ・廊下は走ってはいけない
- ・ごはんは一粒も残さない、残したら作った人が悲しむ
- ・みんなで仲良く暮らす

など、藤樹書院で教えていただいたことを伝えていました。

また、翌日には

「昨日、ごはんはもったいないから残さずに食べようって聞いた。だから全部食べてきた。魚も全部食べてきた。」

と話している子どももいました。

芝生の除草作業

ありがとうございました



9月14日(土)はとても暑い日でしたが、たくさんの保護者の方に来ていただき、芝生内の除草作業をしていただきました。おかげさまで雑草の量が減り、運動会には、きっと子どもたちが動きやすい芝生にできあがると思います。ありがとうございました。